

会派視察報告

県民クラブは、4月15日（火）～17日（木）にかけて、NPO法人ふるさと回帰支援センター、柏の葉スマートシティ、茨城県庁の会派視察を行いました。

「ふるさと回帰支援センター」視察

ふるさと回帰支援センターは都市圏住民の地方移住を支援する拠点施設で、全国約400自治体がブースを設置している。視察では、移住先ランキング上位の和歌山県が100社以上のパイプを持



つなど、就業支援に力を入れる自治体が目立った。移住希望者は単なる情報ではなく、生活の具体的なイメージと移住後の支援策を求めている。本県においても就業支援相談員の増員や地域独自の魅力発信、地元住民の理解促進が必要である。JOINとの統合により地方移住機運の高まりが期待され、社会増政策を考える上で有意義な調査となった。

「柏の葉スマートシティ」視察

千葉県柏市の柏の葉スマートシティは、つくばエクスプレス開業を契機とした「公・民・学」連携による課題解決型まちづくりプロジェクトです。「環境共生」「健康長寿」「新産業創造」をテーマに、行政・市民・企業・大学・研究機関が連携し、街全体がオープンイノベーションフィールドとして機能しています。

本調査で、大分県の温泉資源、農業、産業技術の強みを活かし、大分大学・APU・日本文理大学との「公・民・学」連携でのイノベーションハブの



設立や、温泉療法・ウエルネスツーリズム、アグリテック拠点、地熱発電を基盤とした環境共生型スマートシティの可能性を感じました。

「茨城県遠隔教育の取組調査」

茨城県では義務教育段階でスペシャリスト教員による遠隔授業を実施し、8割の児童生徒が学習に興味を示していますが、思考力向上に課題も見られました。高校段階ではDXハイスクールで生成AI活用や企業連携探究授業を展

開し、小規模校支援では情報科の遠隔授業を通年実施して専門性の高い授業を提供しています。今後は対象校増加と理数系科目拡充を検討中とのこと。大分県でも特に高校において専門教科担当者不在時の遠隔教育拡充が重要であり、地域の小規模校を守り活かすため、少人数でも質の高い教育を実現する遠隔教育に活路を見出すべきと感じました。



《表紙写真背景について》

健ちゃん像：彫塑界の長老北村西望氏の1917年日展出品作品を、「ユーモラスな作品から微笑みと安らぎを感じていただければ」の想いを込めて、マリンパレス創業5周年記念として大分市民へ贈呈されたもの。

県議会ホームページにて
一般質問の中継録画を視聴できます

<https://oita-pref.stream.jfit.co.jp/>

県議会HPにて過去分も含め、
各議員一般質問の全録画を視聴できます。



意見書の採択状況 2025年 第2回定例会

	県民 クラブ	民主 党	自由 党	公明 党	共産 党	日本 維新の 会	無所属 会派	日本維 新の会 新	可 ・ 否
里親制度の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可
地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	×	○	○	○	○	可
二〇二五年度大分県最低賃金の改定等に関する意見書	○	×	×	○	○	○	○	○	否
義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可
地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可
事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書	○	○	○	×	○	○	○	○	可
米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可